

# 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 3 月 27 日改正  
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

## ①第三者評価機関名

NPO 法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと

## ②施設・事業所情報

名称： 放課後デイサービス虹色キラリ	種別： 障がい児通所支援	
管理責任者： 脇田恵巳	定員（利用人数）： 10 名	
所在地： 岐阜県美濃加茂市太田町 1823-5 タウンロイヤル		
TEL： 0574-23-0550	ホームページ： <a href="https://www.nijinohashi.co.jp/">https://www.nijinohashi.co.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 26 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（代表者名）： 株式会社サーバント（代表者 千住敏晃）		
職員数	常勤職員： 4 名	非常勤職員 4 名
専門職員	（専門職の名称）	
	保育士 2 名	児童発達支援管理責任者 1 名
	児童指導員 4 名	指導員 1 名
施設・設備 の概要	（居室数）	
	1 室	（設備等） 指導室、学習室、相談室、事務室 トイレ 2、倉庫、玄関

## ③理念・基本方針（※転載）

理 念： 真を磨き真を貫く。愛を以って動ず。  
幸たるは真の人として成長なり。

基本方針： 私たちは子どもたちの可能性を信じて、日々の支援に熱い心で全力投球いたします。

<ビジョン> 愛が一番、笑顔が絶えない活気が響きあう。

<私たちの約束事> 一つ、卑怯な振る舞いは一切致しません。  
一つ、無理強いは一切致しません。  
一つ、ほめて、はげまして、長所を伸ばします。  
一つ、常に気配り、目配り、心配りを怠りません。  
一つ、あいさつ、返事をきちんとおこないます。

## ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

株式会社サーバントは本社が可児市にあり、可児市、美濃加茂市、下呂市を拠点に運営している。放課後デイサービス 7 か所、児童発達支援 1 ヶ所、短期入所施設 1 ヶ所、高校通信教育サポート校、こどもリハビリクリニック、ホースセラピーの取組と、法人代表が医療・福祉・教育の三本柱をビジョンにした結果の多機能な事業展開がスピード感を持って行われている。

法人顧問には弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士の各種専門職を配置しており、コンプライアンスの体制を万全にしており、特に虐待についての研修に力を入れており、毎月、職員基礎行動自己チェック表で利用者の権利侵害につながる行動を自覚し、権利侵害の防止が徹底されている。

法人全体で取組む夏祭りや年1回のバスを借り切った親子遠足も職員と保護者、保護者同士の交流の機会となっており、子どもたちが社会でのルールを学ぶ活動にもつながっている。

その中であって、虹色キラリは美濃加茂市に拠点を置き、運動支援を中心に動と静のバランスを取りながら専門家によるリトミックやヨガなど多くのプログラムを用意している。保護者が安心して利用できる信頼関係の構築に努め、その利用児が次もまた来たいと言える支援を職員が一丸となって取組んでいる

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年6月15日（契約日）～ 平成31年2月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	今回は初回（平成 年度）

### ⑥総評

◇特に評価の高い点

#### （地域の社会資源の活用）

地域の社会資源の活用を意識し、歩いていける距離に図書館があり、土曜は地域の子どもの中に入り一緒に図書館での読み聞かせの時間を楽しんでいる。地域の農業高校の農業祭、隣接する町の短大の大学祭に出掛けている。

#### （多彩なプログラムで利用児の適切な個別支援）

親の意向を把握し、子どもがしたい事が、できる事になるように本人のエンパワメントにつながる個別支援計画はPDCAサイクルで適切に取り組んでいる。

子ども一人ひとりが、今月頑張ることの目標を立て、可視化できるようにボードに貼り、楽しい、成功した、頑張ったことを子どもや職員と共有し、日々の活動内容や様子を個別ファイルに詳細に記録している。

学習支援、運動支援、専門家によるリトミックやヨガなど多彩なプログラムを用意している。

#### （避難経路の可視化と体験）

事業所からの避難経路を分かり易くB紙サイズの絵図で示し、目に付く場所に掲示しており、月1回は避難経路を実際に子どもたちと外出した時に確認もしている。

災害時の対応は、保護者が混乱しないようにルールを決めており周知させている。

◇改善を求められる点

**(一歩進んだ環境整備に期待)**

養育室の道路に面した側は一面ガラス張りになっており、危険防止のために段ボールを活用してガラス面を覆っている。段ボール活用の工夫は評価できるが、同法人の他事業所は同じような環境の下、デザイン性のある柵で対応している。環境整備も保護者や来訪者の評価になる要素であることを意識し、一歩進んだ環境作りをめざした運営に期待したい。

**(組織としての人材育成の取組に期待)**

人事は法人代表が中心になって動いており、迅速な人事異動で現場の状況に対応しているが、現場で必要な人材や職員の特性や家族の状況を知り得ている管理者が職員評価を行い、組織としての人事システムを構築し、人材育成も視野に入れた体制づくりに期待したい。

**(中長期計画や事業計画の文書化に期待)**

中長期計画や経営、人事等は法人代表のトップダウンでスピード感を持って運営が進められ、文書化の作業は後回しになっている。必要な情報や伝達はテレビ会議を通して迅速に対応している点は評価できるが、組織が大きくなればなるほど、事業計画や経営方針等を文書化したもので職員へ周知を図り、定期的に職員の意見や要望等を聞く機会を設け、それを法人全体会議に挙げ運営に反映させていく取組に期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

子どもたちが社会性を身に付けていくことを大切に今後も保護者、関係機関との連携に努め職員が同じ方向性をもって子どもたちと向き合っていきたいです。その為は研修を受けるだけでなく、研修を受けた後の自分を客観的に見て成長が来ているか、周りからも研修に関して聞かれたら具体的に教え、伝えていくことで自分の成長も見られていくと思います。今後も社内の研修だけでなく他での研修に出向いてキラリ全体で子どもたちのエンパワメントを輝かせて行きたいと思っています。

環境の整備に関して、ガラスの危険性の保護や光からの遮断も考えて行っています。環境の評価につながってしまう事であれば社との相談を行っていきませんが、活動の内容や四季の変化によって取り外したりはめたりしたいと考えています。資金を掛ければいいものは出来ると思いますが、工夫をすることも子どもたちに教えていきたい部分です。

今一度、社と相談をしていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。